

# 地方創生につながる テレワークの推進について

---

～都市部の企業を動かす施策の必要性～



株式会社 テレワークマネジメント

2020.12. 9  
(11/26版)

日本で最初のテレワーク専門コンサルティング会社として、2008年に設立

## 普及啓発



- テレワークに関する講演・研修
- テレワークセミナー定期実施
- メールマガジン定期配信
- 自治体テレワーク普及・推進事業

## 導入支援

380社以上の実績

- テレワーク導入コンサルティング  
テレワークに関する調査/分析  
テレワークツールの開発/販売  
テレワーク勤務規則/制度策定サポート
- テレワーク研修・講演

## ビジネス提案



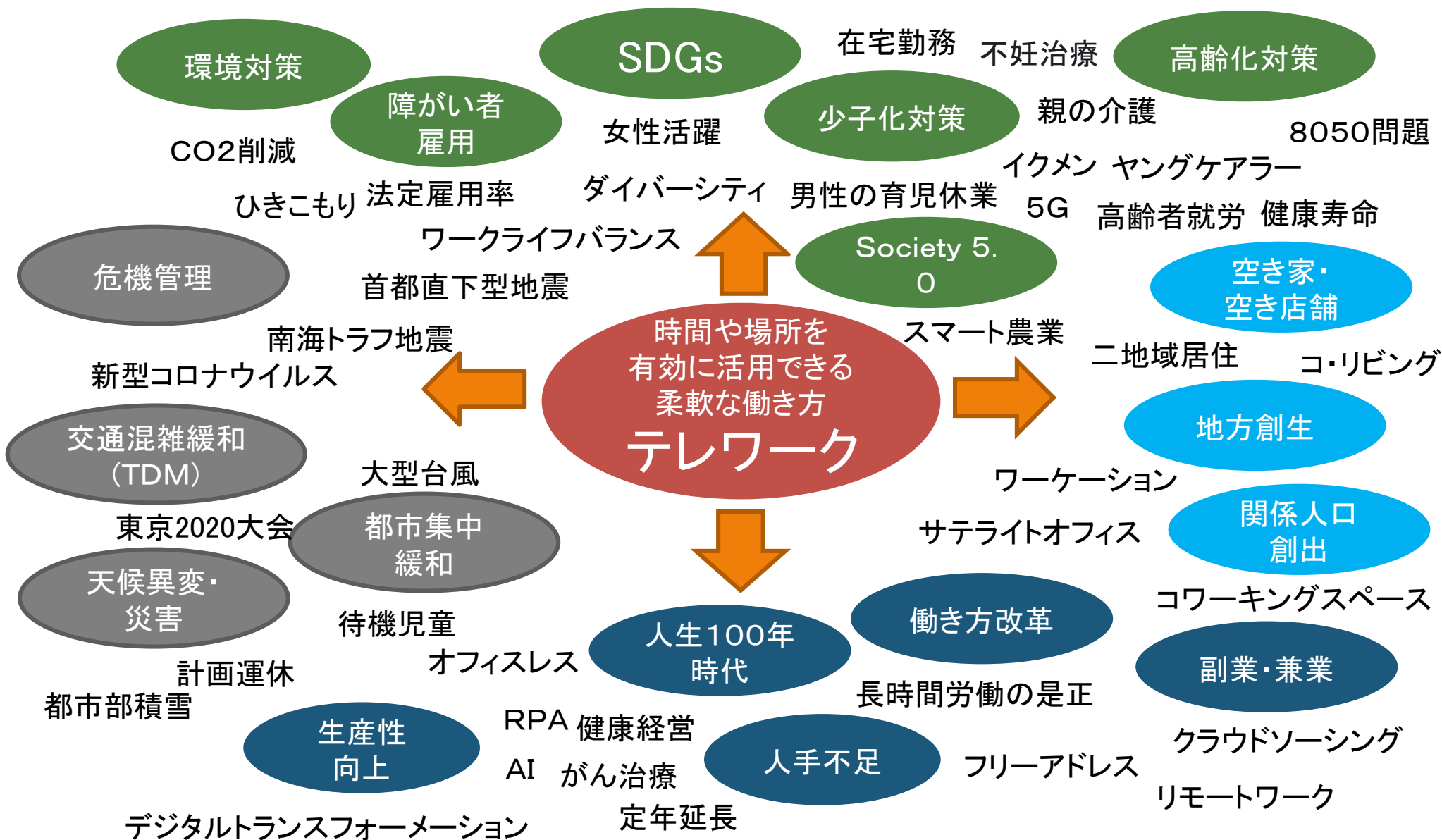
- テレワークを活用した新しいビジネスの提案

## 政策提言



- 国の政策提言
- 自治体の施策提言

# テレワークは、様々なキーワードや課題に答えを出す働き方



## 都市部企業の行動を促す



- いつもの仕事ができるテレワークの支援(テレワークコンサルティング)
- 国や自治体からの金銭的支援(助成金/税軽減)
- 企業版ふるさと納税等、CSR機会の提供

## 地域の体制構築を支援する

- 高速インターネット環境の整備
- ワークスペースの整備
- 地域の適切な魅力発信のノウハウ提供
- 地域の受け入れ体制の整備

## 関連事業者を支援する

- 企業のテレワーク導入支援事業
- 地域へのテレワーク支援事業
- 地域と企業のマッチングサービス事業
- 住居/教育/業務紹介などの関連事業

# 地方創生テレワークにおいて「企業」にこだわる理由

## ■2019年労働力調査「平均結果の概要」より

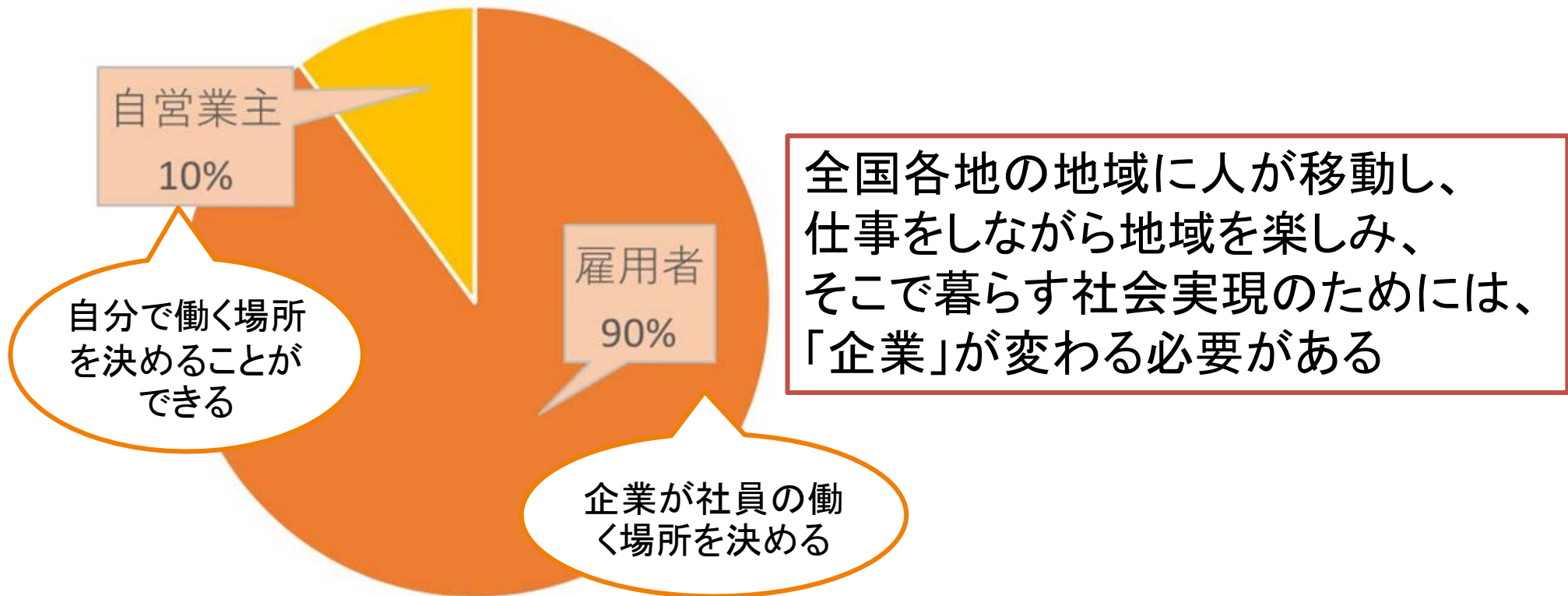
<https://www.stat.go.jp/data/roudou/sokuhou/nen/ft/index.html>

就業者数6724万人、雇用者数6004万人、自営業675万人

就業者に占める雇用者の割合は 89.3%

自営業主・家族従業者数は 675 万人と 11 万人の減少

正規の職員・従業員数は、2019 年平均で 3503万人



# 企業におけるテレワークの現状と課題

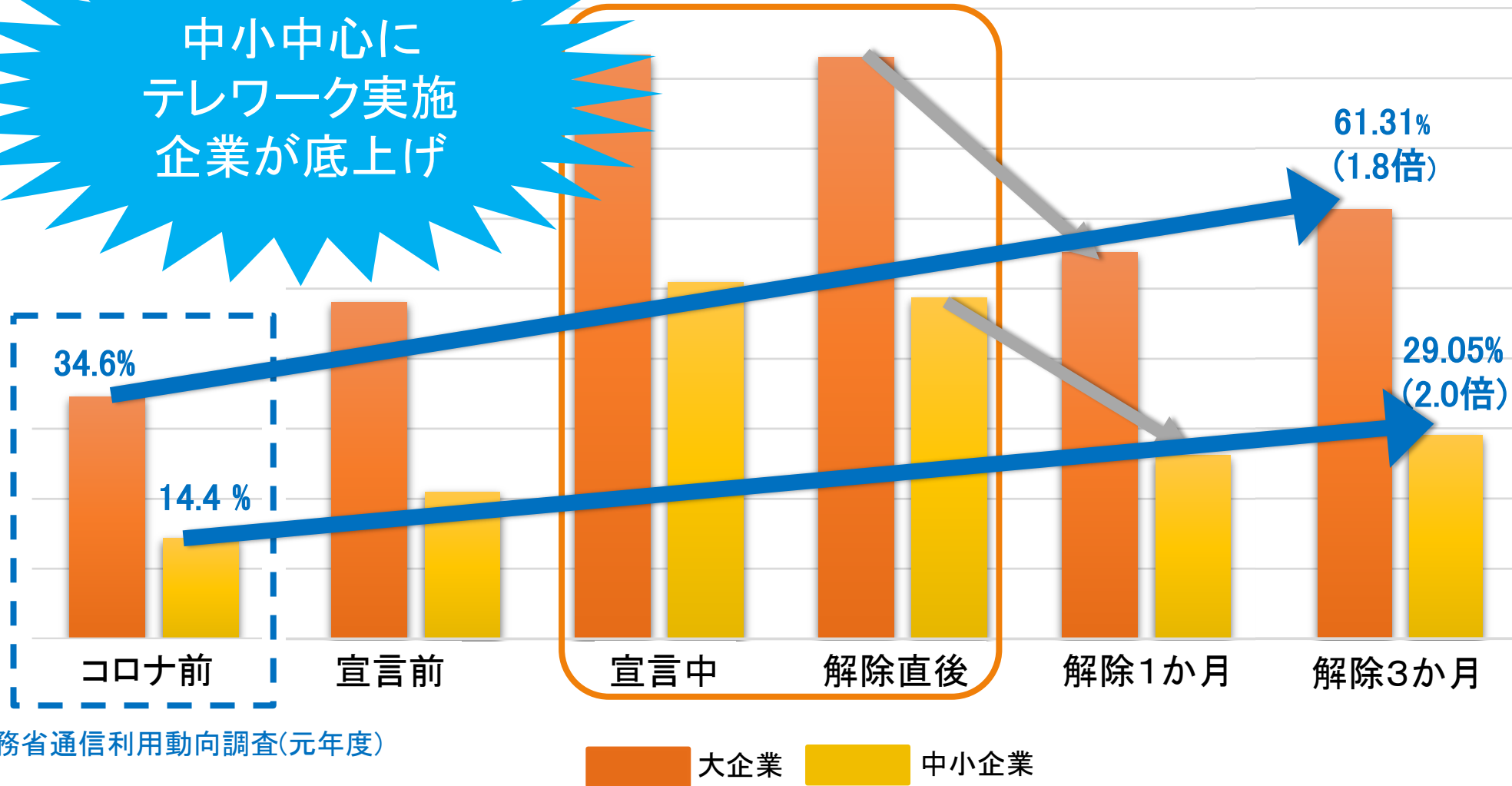
# コロナ禍におけるテレワーク実施企業の変化

東京商工リサーチ

「新型コロナウイルスに関するアンケート」調査  
第3回 第4回 第5回 第6回 第8回

## テレワーク実施企業

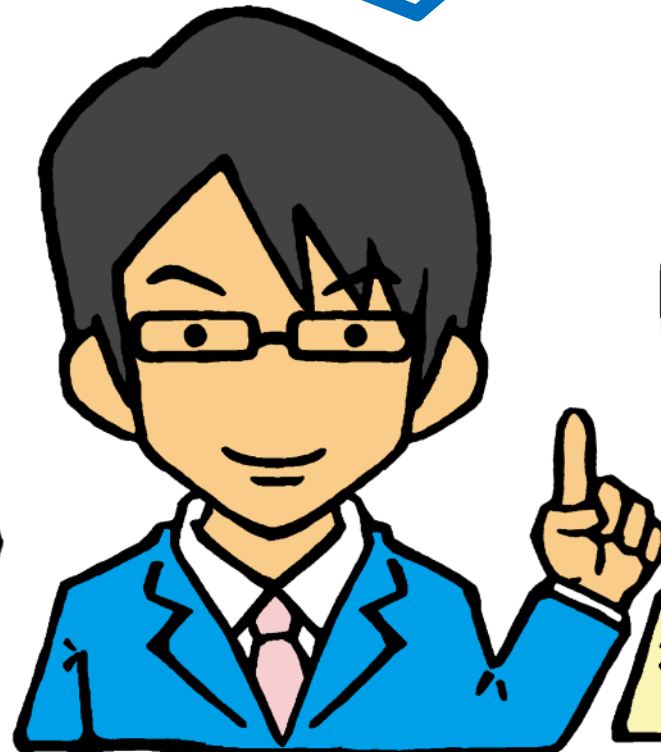
中小中心に  
テレワーク実施  
企業が底上げ



副業収入を得たり、資格取得の時間ができる

毎日、満員電車で通勤しなくていいかも

子育て中でもフルタイムで勤務できそう





## 13. 緊急事態宣言下にテレワークを行ったこと

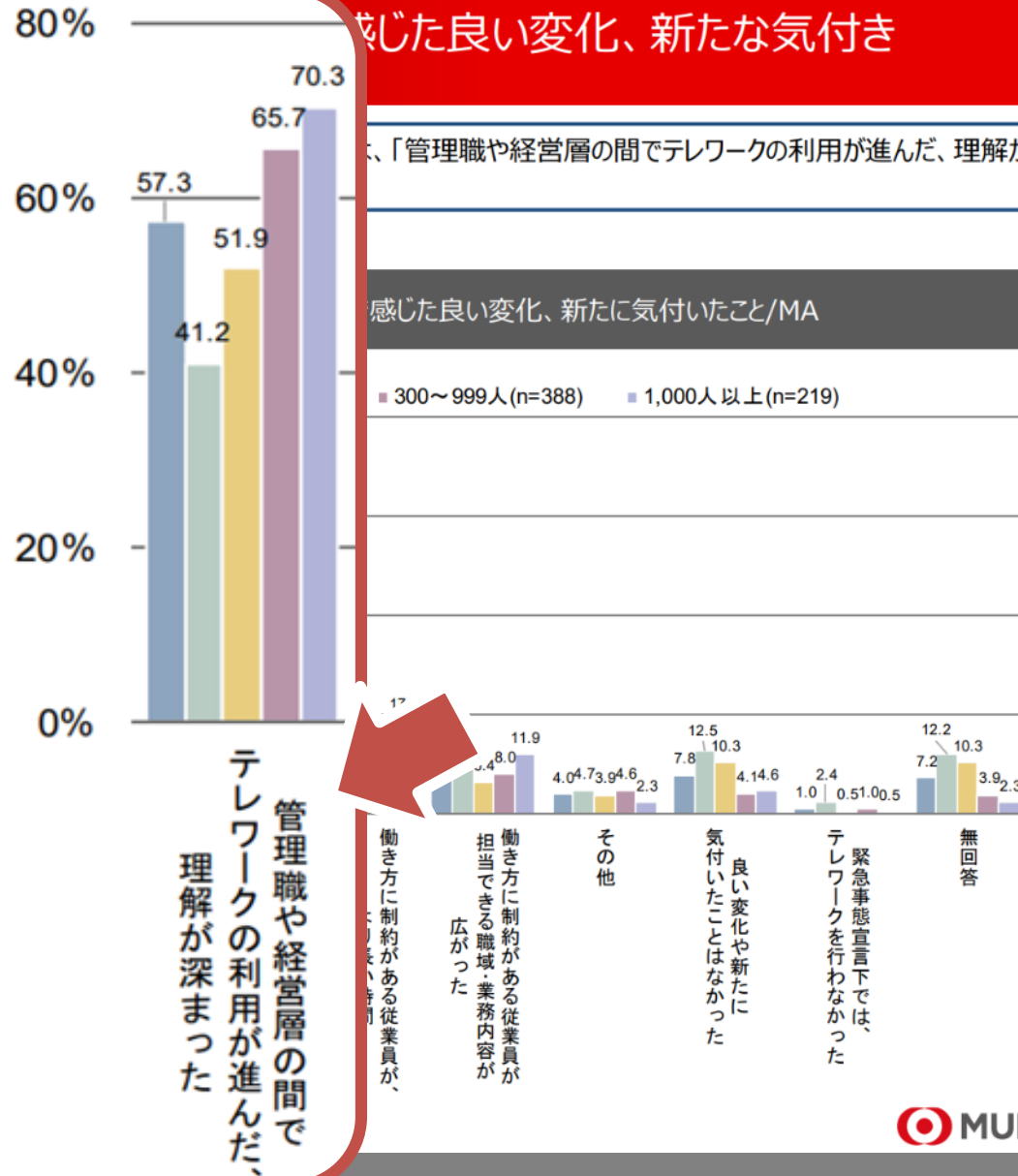
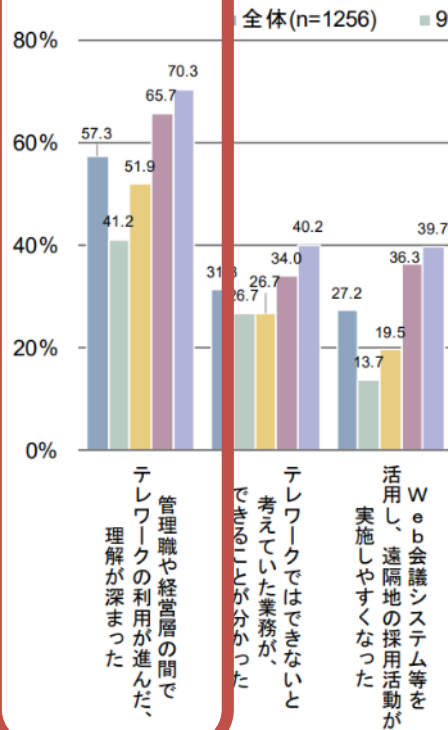
## 感じた良い変化、新たな気づき

■ 緊急事態宣言下にテレワークを行ったこと「進んだ、理解が深まった」が多く、企業規模が大きくなるほど、

「管理職や経営層の間にテレワークの利用が進んだ、理解が深

企業調査 (従業員)

感じた良い変化、新たに気付いたこと/MA



管理職や経営層の間に、テレワークの利用が進んだ、理解が深まった



社員全員に  
通勤費を支給し  
なくてもいい？

遠くの地域から  
も人材を採用  
できるかも

国や自治体  
助成で  
IT化が進めそう



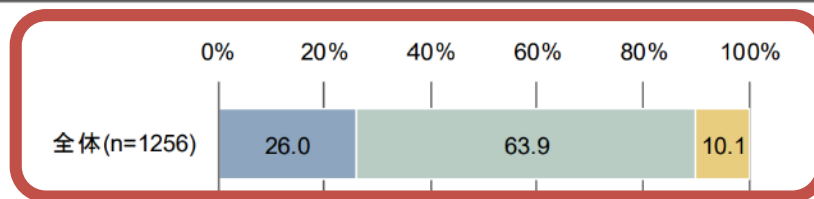
オフィスに  
社員全員分の  
広さは不要かも

出張費を  
大幅削減  
できそう

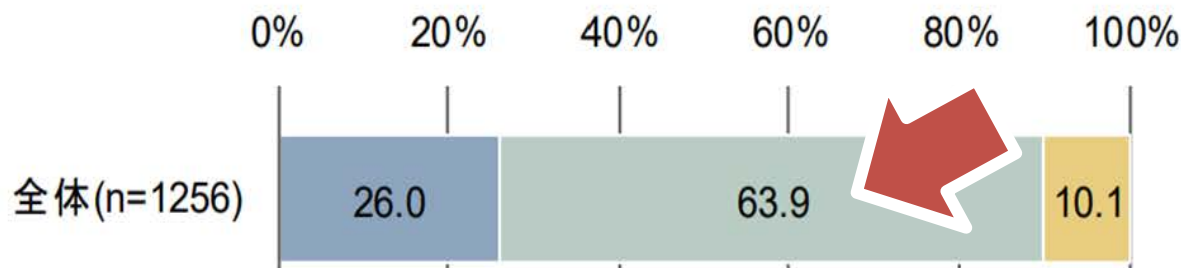
## 3. テレワークの導入・実施時期

- 新型コロナウイルス感染症の流行を機に、それまでに既に導入・実施していた企業の倍以上の企業が初めて導入・実施している。

【企業調査（従業員規模別）】Q26(2).テレワーク（在宅勤務）の導入・実施時期/SA



【企業調査（従業員規模別）】Q26(2).テレワーク（在宅勤務）の導入・実施時期/SA



- 新型コロナウイルスの流行以前より導入・実施していた
- 新型コロナウイルスの流行をきっかけに初めて導入・実施した
- 無回答

# 実施した7割近くの企業が継続意向を示す

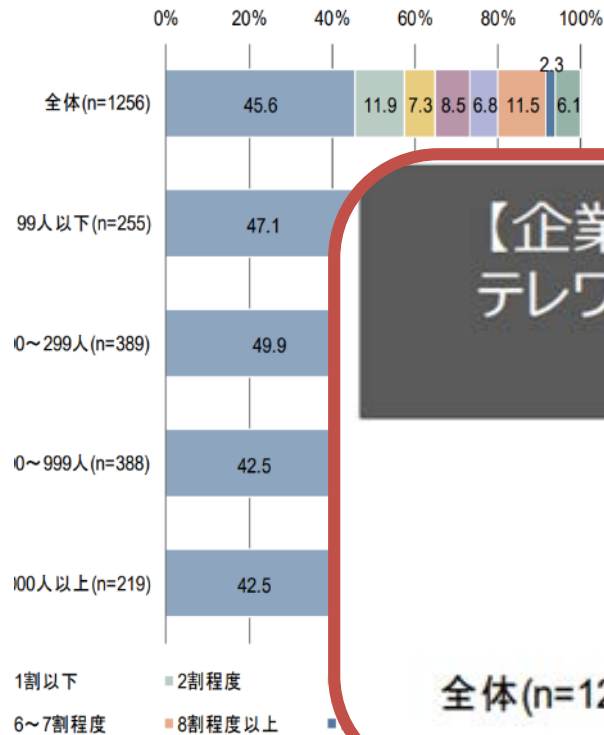
厚生労働省テレワークの労務管理等に関する実態調査（速報版）



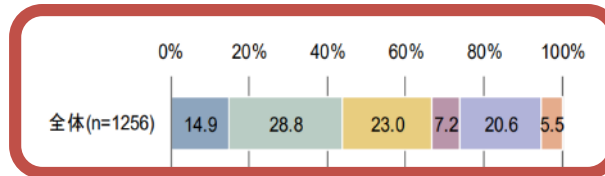
## 1. テレワークの導入・実施状況

（テレワーク（在宅勤務）導入企業におけるテレワークの実施割合と今後の継続意向等）

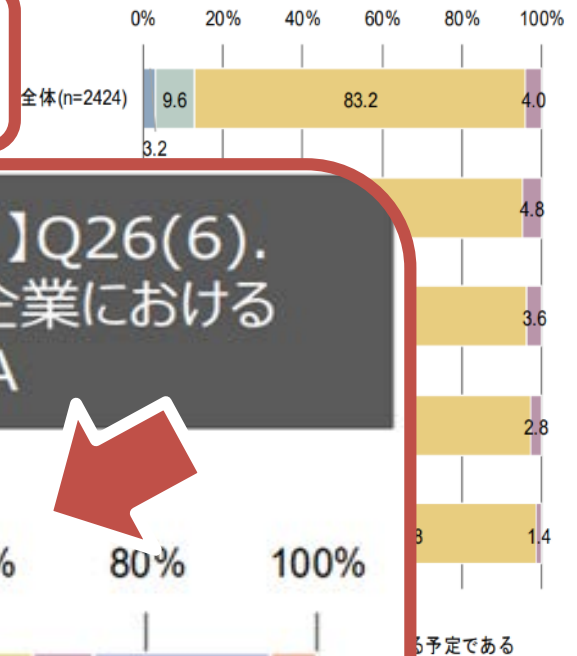
【企業調査（従業員規模別）】Q26(5).  
テレワーク（在宅勤務）導入企業における  
テレワーク（在宅勤務）の実施割合（2020年7月時点）  
/SA



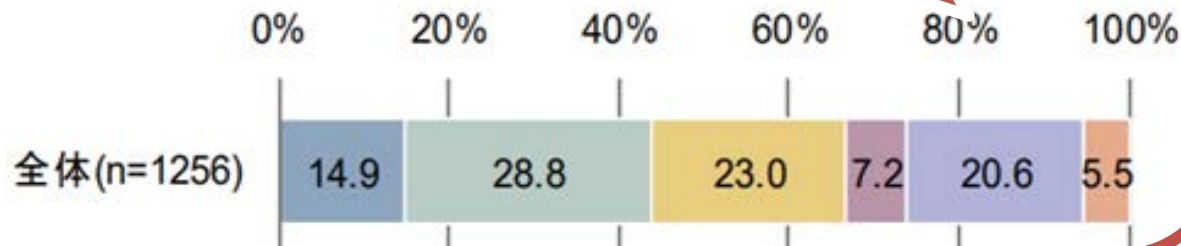
【企業調査（従業員規模別）】Q26(6).  
テレワーク（在宅勤務）導入企業における  
今後の継続意向/SA




【企業調査（従業員規模別）】Q9  
テレワーク未導入企業における今後の意向  
/SA




【企業調査（従業員規模別）】Q26(6).  
テレワーク（在宅勤務）導入企業における  
今後の継続意向/SA




## コミュニケーションの課題




チーム業務  
が進まない




声をかけ  
にくい




評価されて  
いるか不安




オン・オフの  
区別が  
しにくい




遅くまで  
仕事をして  
しまう



ひとり仕事  
が  
つらい



評価が  
できない



仕事が  
覚えられない

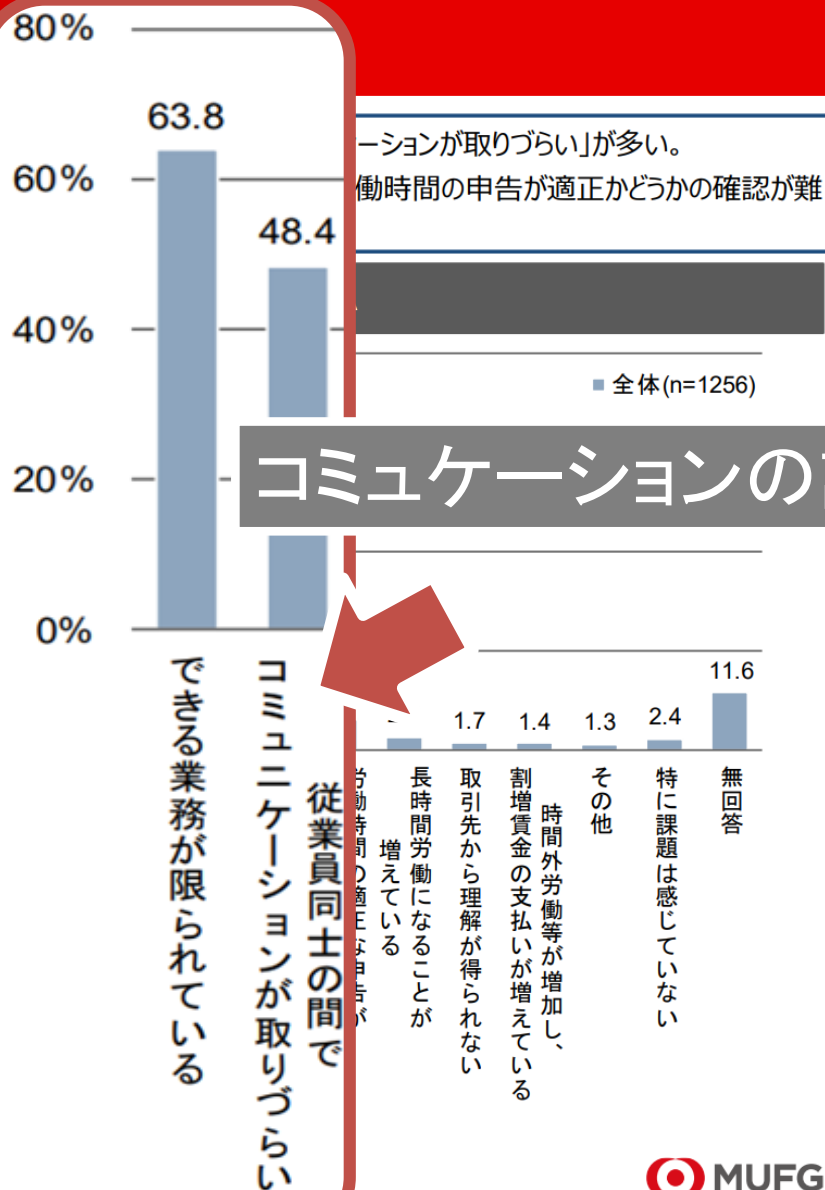
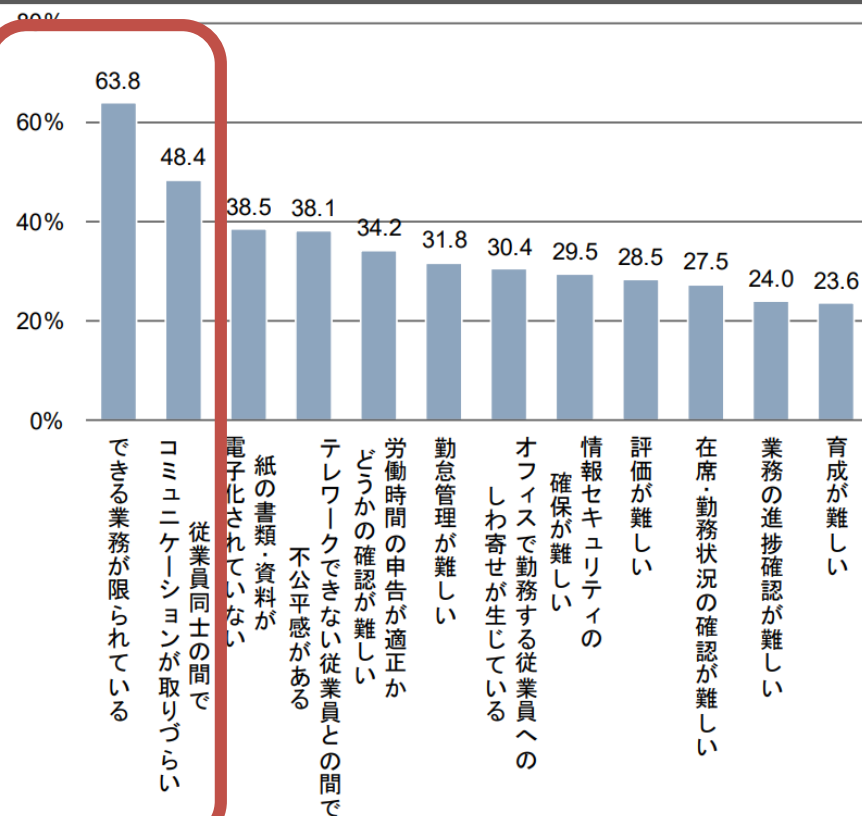


マネジメントの課題

## 14. テレワーク（在宅勤務）で感じた課題

- テレワーク（在宅勤務）で感じた課題としては、「できる業務が限られてい
- その他、「紙の書類・資料が電子化されていない」「テレワークできない従業員が多い」「勤怠管理が難しい」などの回答も一定存在。

【企業調査】Q26(4)①.テレワーク



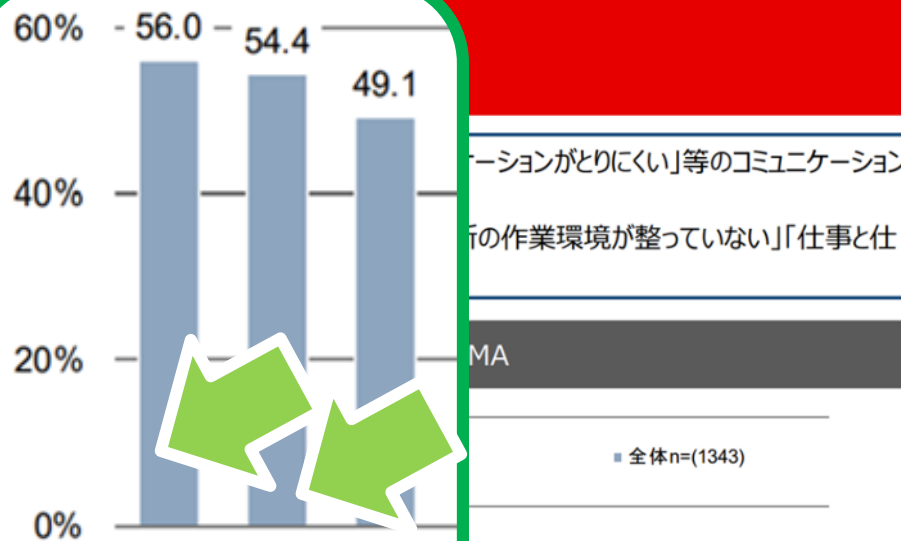
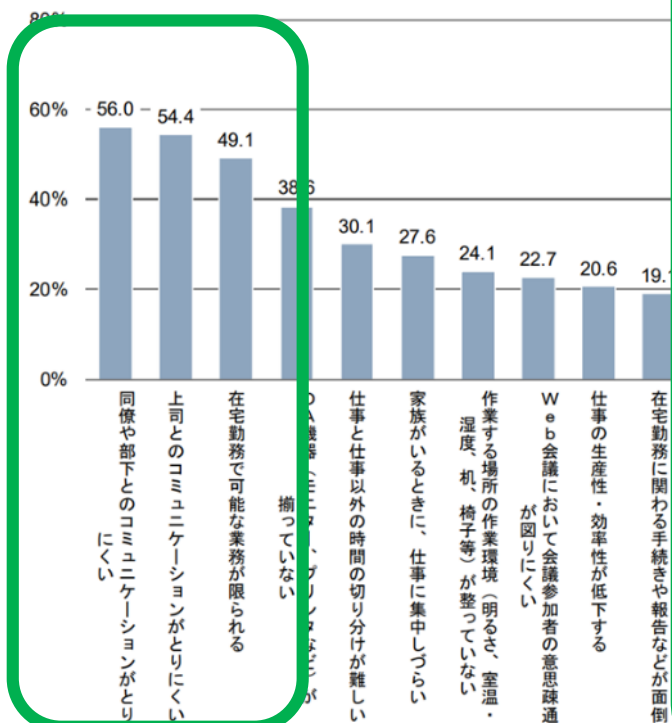
### コミュニケーションの課題

# 従業員課題で「コミュニケーション」が一位と二位を占める

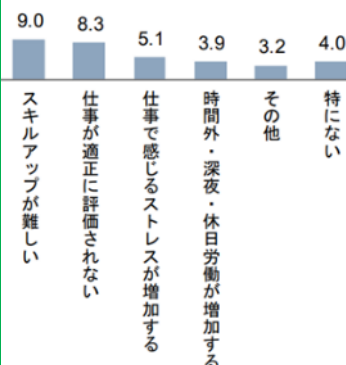
## 4. テレワーク (在宅勤務) のデメリット

- テレワークを実施する際のデメリットとしては、「同僚や部下とのコミュニケーションに関する事項が多い。
- その他、「テレワーク (在宅勤務) で可能な業務が限られてくる」「作業環境が整っていない」「仕事と仕事以外の時間の切り分けが難しい」「家族がいるときに、仕事に集中しづらい」

【従業員調査】Q47.テレワークのデメリット



## コミュニケーションの課題

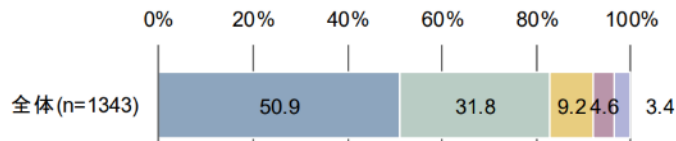


## マネジメントの課題

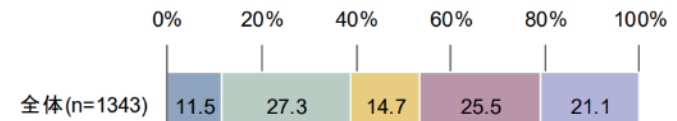
## 2. テレワーク (在宅勤務) 時の状況

- テレワーク実施者について、勤務時間を自分で自己管理できていると思う者が多い一方で、一部できていないと思う者も存在。
- テレワーク実施者について、上司にさぼっていると思われるか不安に思う者も一定程度存在。

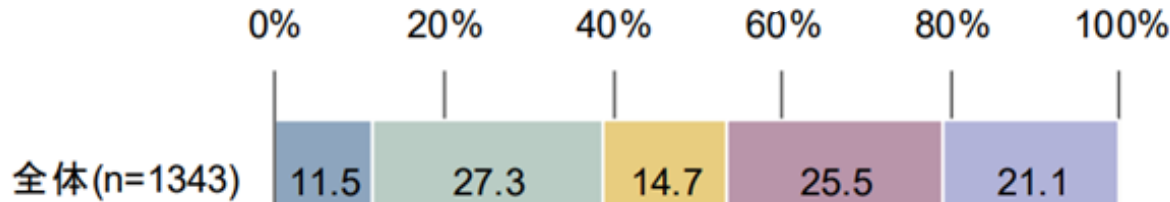
【従業員調査 (従業員規模別)】Q44-1  
勤務時間を自分で自己管理できている/SA



【従業員調査 (従業員規模別)】Q44-3  
上司にさぼっていると思われるか不安に思う  
(部下がさぼっているのではないかと不安に思う) /SA



【従業員調査 (従業員規模別)】Q44-3  
上司にさぼっていると思われるか不安に思う  
(部下がさぼっているのではないかと不安に思う) /SA



■ そう思う ■ ややそう思う ■ どちらともいえない  
■ あまりそう思わない ■ そう思わない

マネジメントの課題

■ そう思う ■ ややそう思う ■ どちらともいえない  
■ あまりそう思わない ■ そう思わない



# 地方創生につながるテレワークとは

都市部

地方

オフィスも  
働く場所の  
ひとつ

テレワークでは  
仕事に限られる

道具

テレワークでも

制度

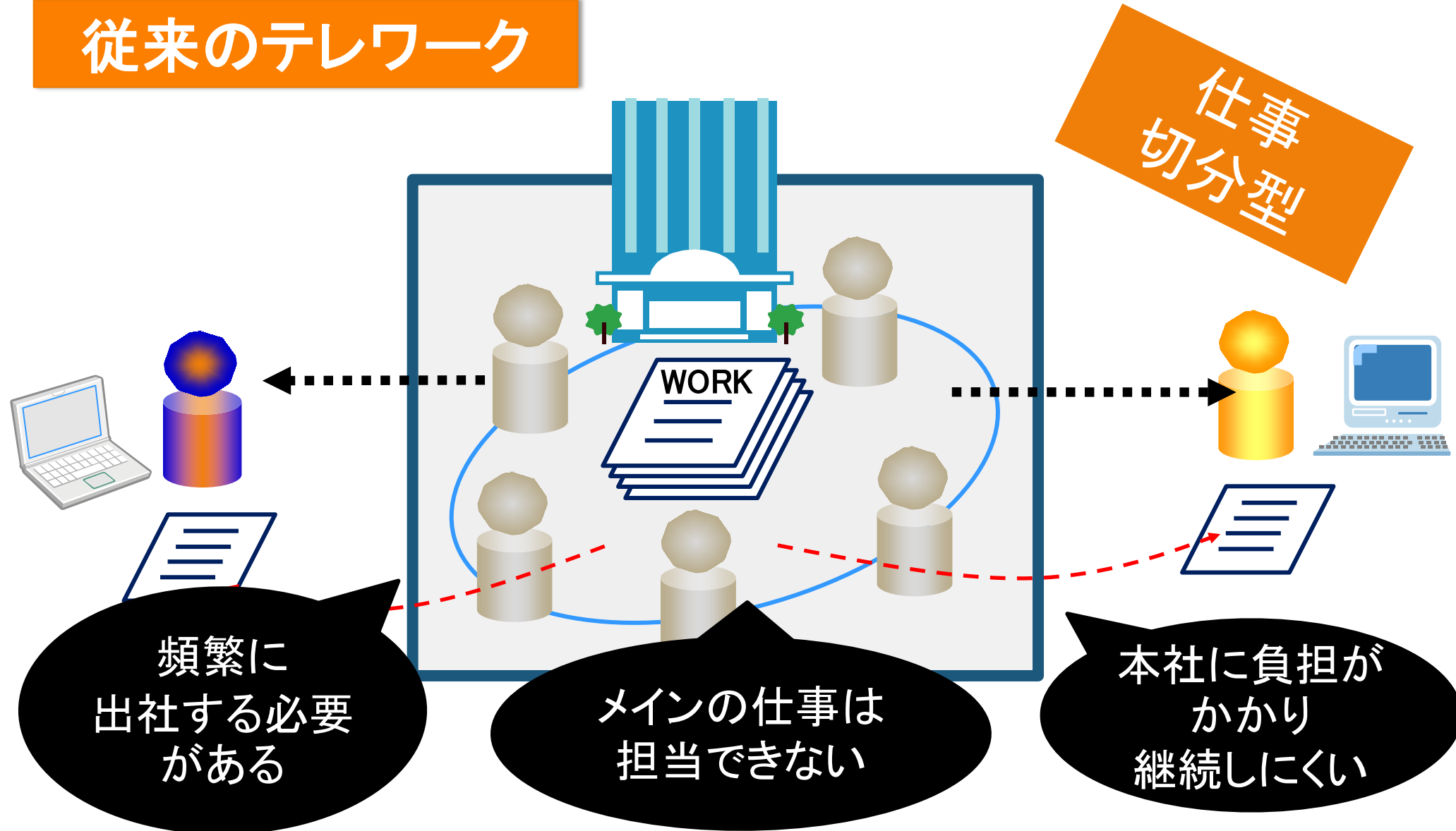
流れ

できるように

無駄

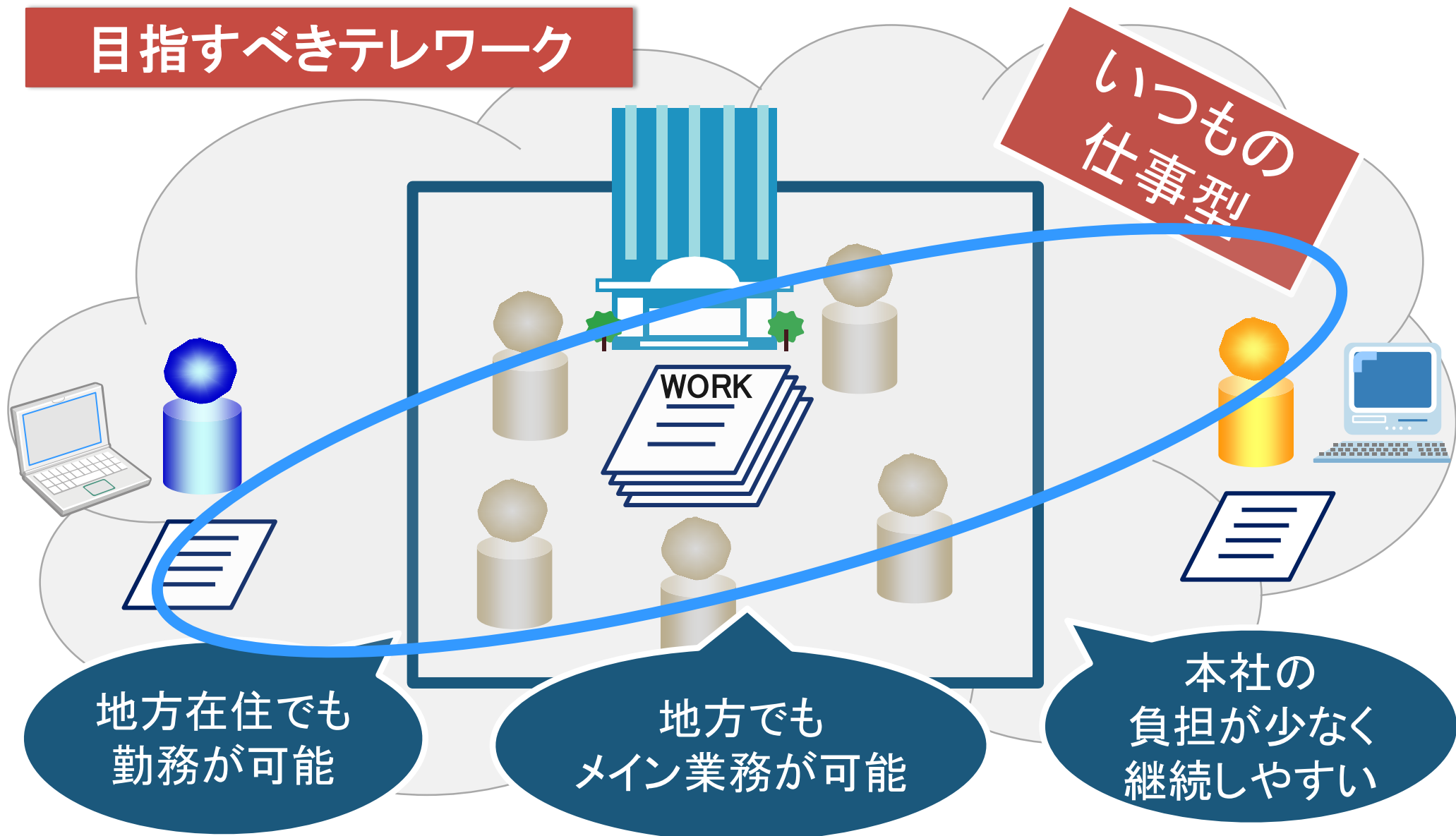
すべての仕事を見直す

## 従来のテレワーク



目指すべきテレワーク

いつもの  
仕事型



# 【事例】弊社のオフィスは、クラウド上にあります

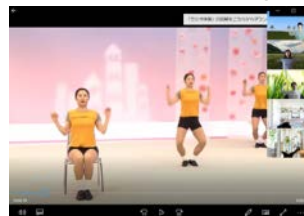
社長室に田澤がいます



鈴木は、自席にこもって集中仕事をしているようで



毎朝9時になったら、大講堂でラジオ体操



会議室Bでは、社内会議中ですね。ZOOMを使っています。



応接室では、社員がお客様の対応をしています



田中は、電話エリアで電話対応中ですね



6人が、同じ部屋で一緒に仕事をしています



お昼の時間になると休憩室に移動します



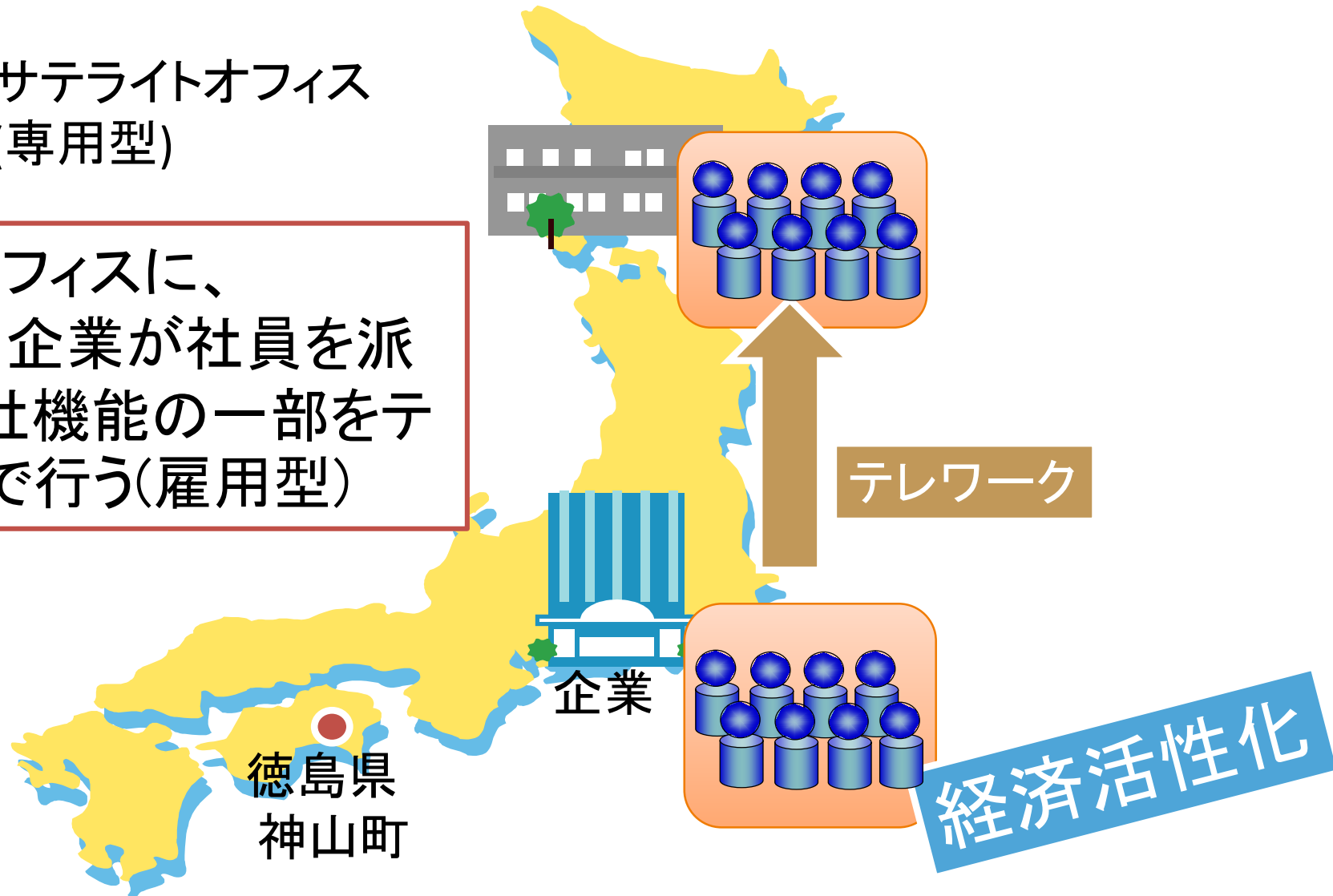
# 地域における受け入れ体制の構築

総務省では、平成27年度に、地域の実情や企業ニーズに応じた有効なふるさとテレワークのモデル等を実証した事業を行いました。平成28年度からは、地方自治体や民間企業等に対し、地方のサテライトオフィス等のテレワーク環境を整備するための費用の一部を補助する事業を行っています。



## サテライトオフィス (専用型)

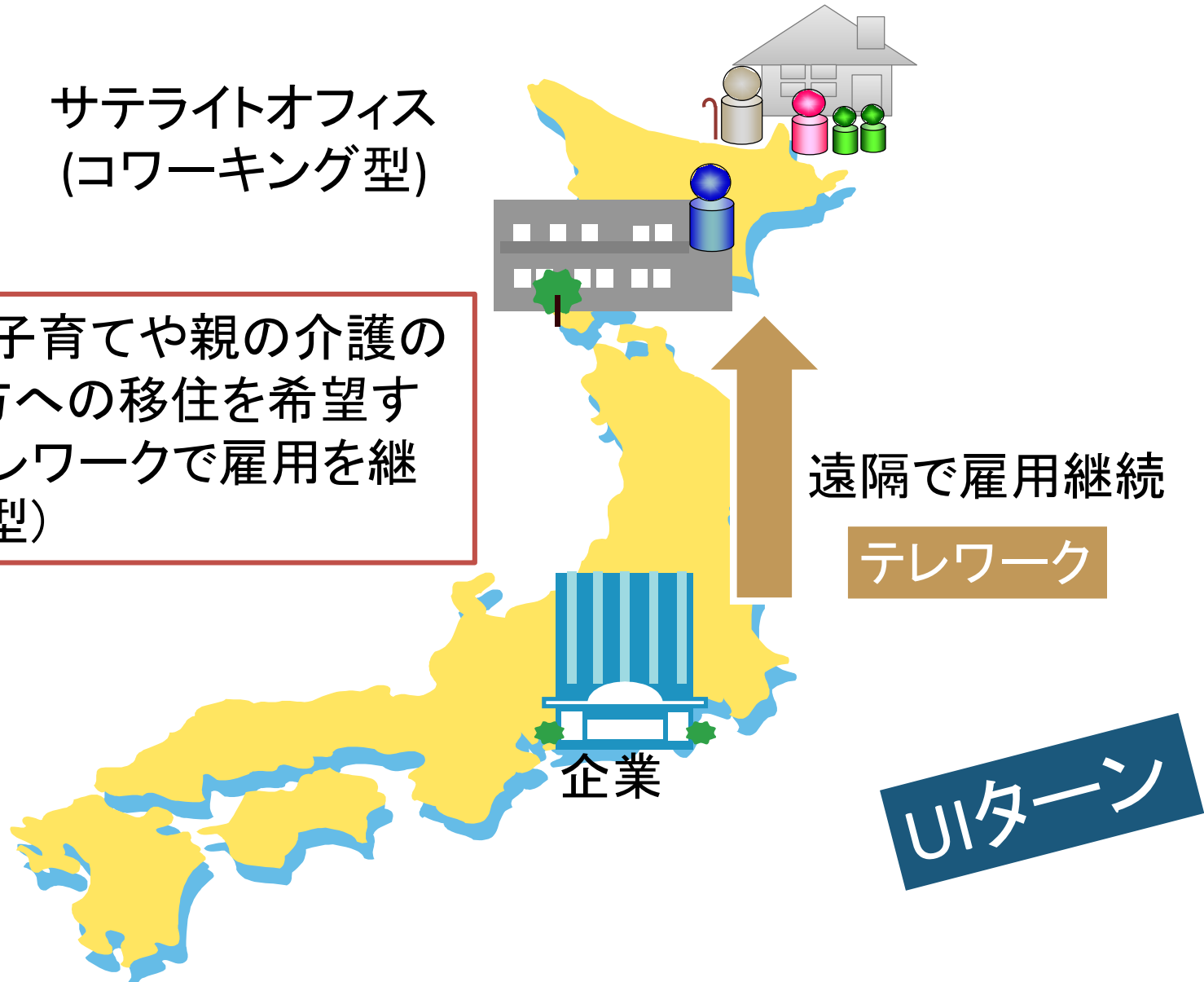
地方のオフィスに、  
都市部の企業が社員を派遣し、  
本社機能の一部をテレワークで行う(雇用型)

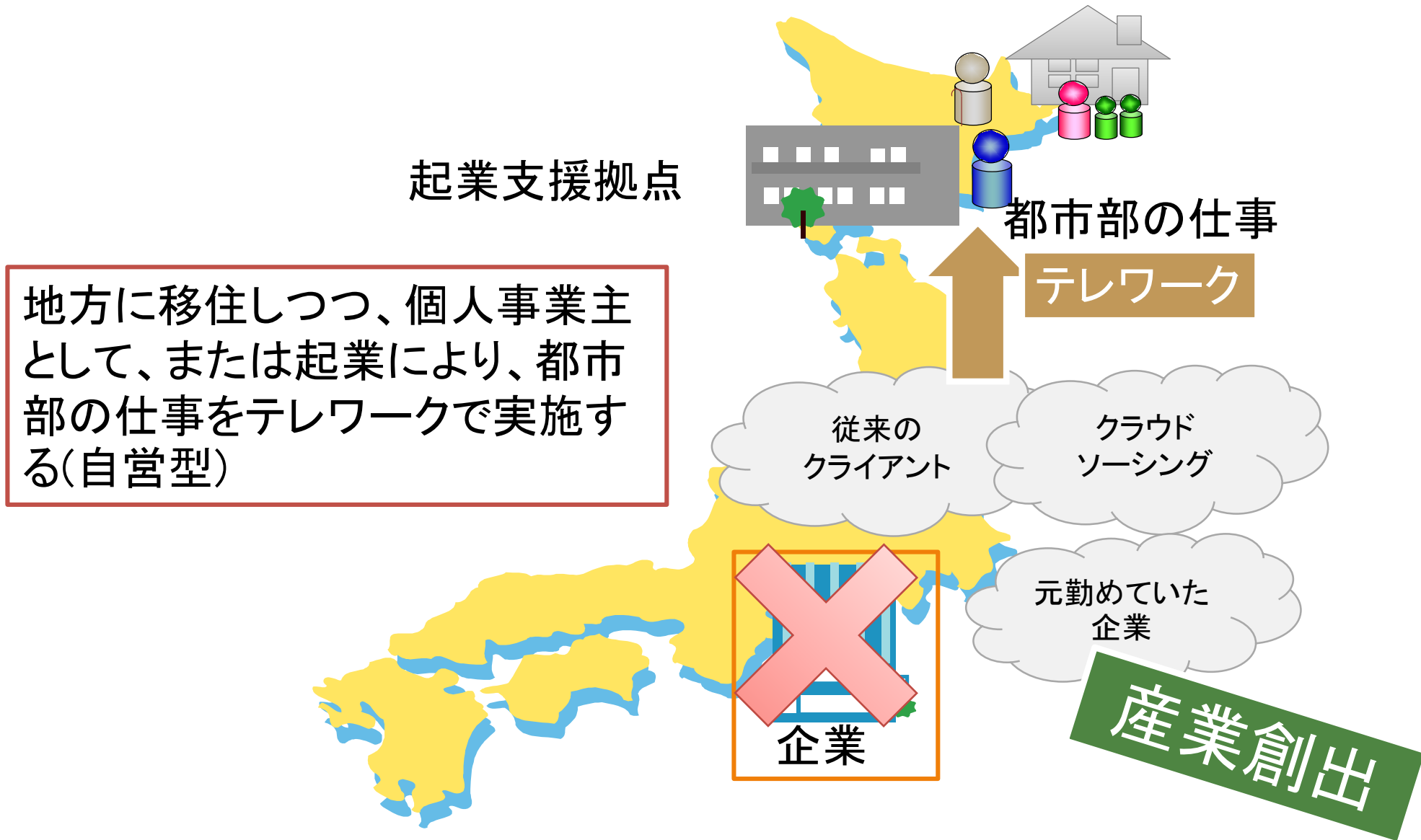


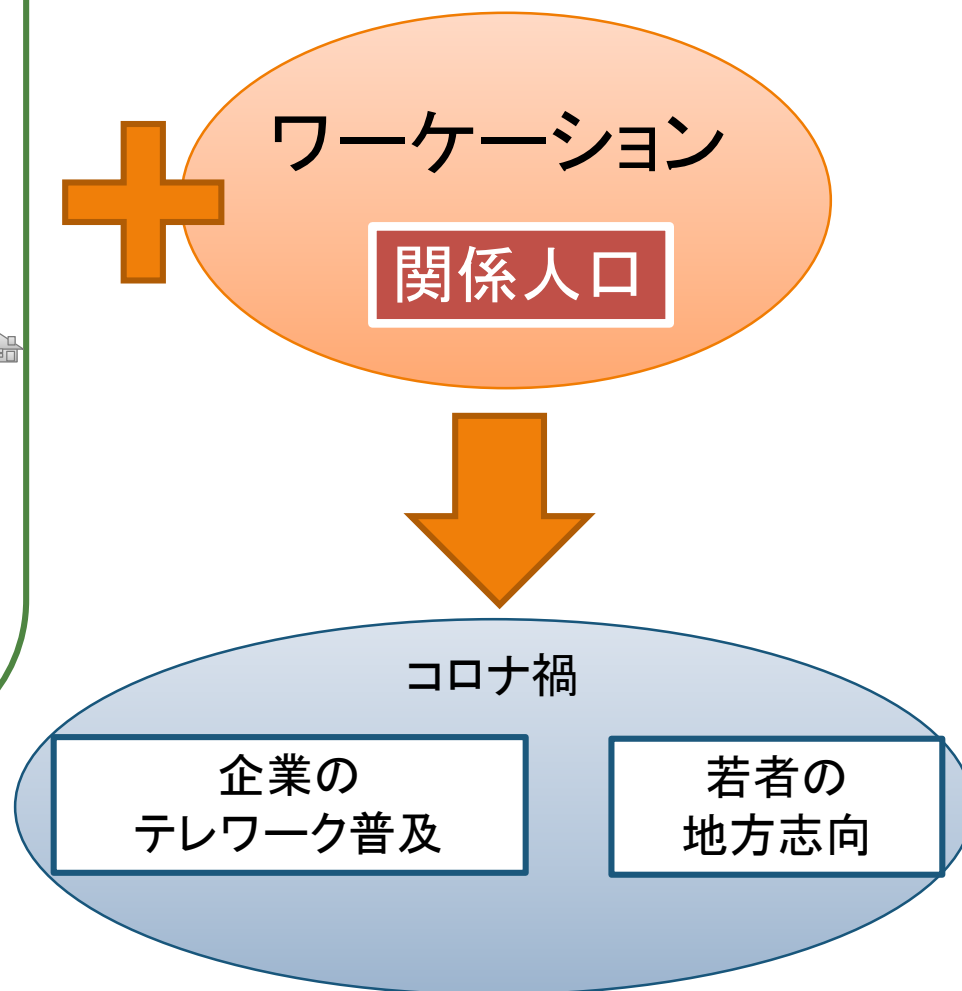
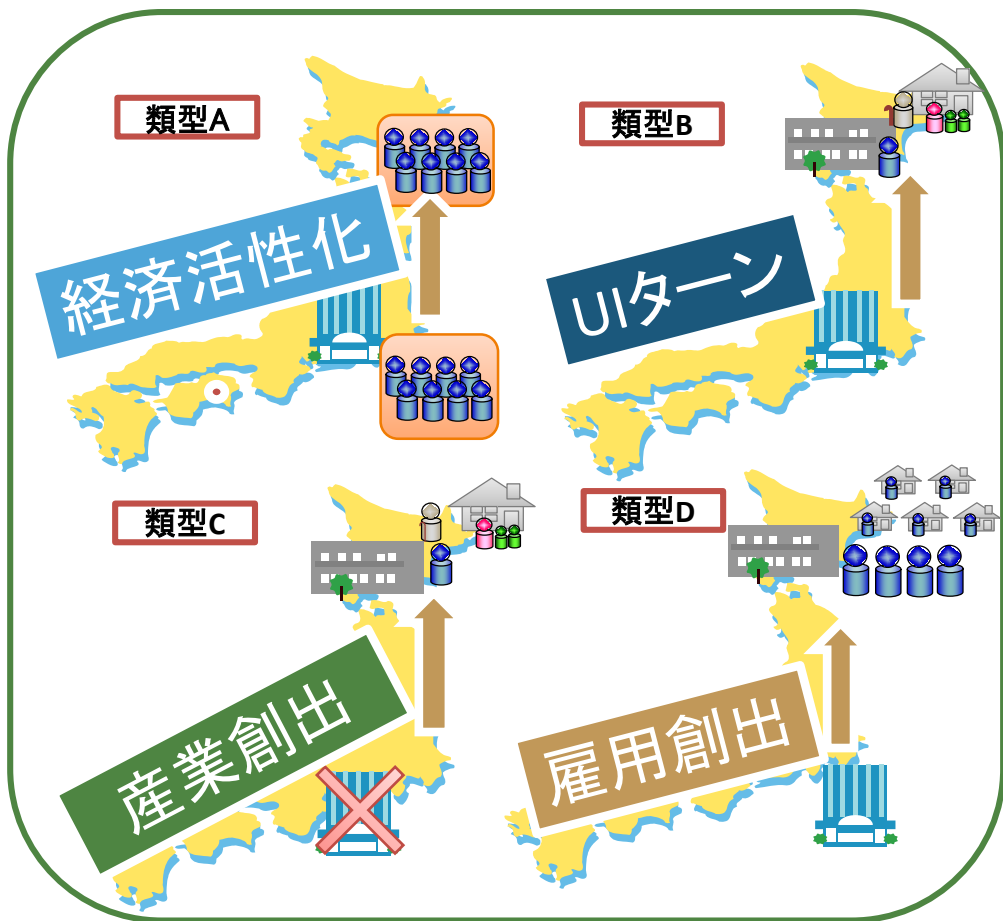


サテライトオフィス  
(コワーキング型)

コロナ禍や、子育てや親の介護の理由から地方への移住を希望する社員を、テレワークで雇用を継続する(雇用型)







# 【事例】北見市「さまざまな地方創生テレワークに実績あり」

平成27年度ふるさとテレワーク実証事業に参加。商店街の空き店舗をリニューアルして「サテライトオフィス北見」を設置。継続的に地元起業家の利用促進、北見工大との共同イベント、帰省型テレワーク、オンラインインターンシップ等の企画や施策を実施し、「ふるさとテレワーク」4類型すべての事例を実践。令和2年秋、全国発の「移住者1人から」企業に補助金を出す制度をスタートさせた。



## 類型A

	<b>i-enter corporation</b> 株式会社アイエンター 代表取締役 入江 昌彦 東京都渋谷区東3-14 資本金 3,000万円 社員数 210名
	<b>Zooops Japan</b> 株式会社ズーフスジャパン 代表取締役 渡部 建樹 東京都目黒区神田町1番12-15 資本金 3,000万円 社員数 56名
	<b>KANAME</b> 株式会社 安 代表取締役 中川 志次 東京都中央区日本橋茅場町2-8-1 資本金 1,000万円 社員数 75名

## 類型B

・アイエンター：平田選手

## 類型C

・月刊ヤングマガジン：田川さん

## 類型D

・ジモティー国内初の地方拠点

## 全国初！移住者1人から企業立地補助金

・北海道新聞（全道面）掲載

・企業立地の雇用補助金を「移住×テレワーク」の場合は1名から対象に

- ・社員の北見移住を認めたIT企業に、移住者1名から補助金
- ・withコロナ時代のニーズに適した新たな支援策を制度化

# 【事例】斜里町「地元団体の尽力で、企業200社とつながる」

平成27年度ふるさとテレワーク実証事業に参加。遊休施設をテレワークセンターに改装し、地元メンバーでテレワーカー受け入れ団体「知床スロウワークス」を設立。人と人がつながり、年々テレワークで訪問する企業が増加。地元の学校での出前授業や、地元祭りへの企業参加など、来町数は、企業200社、500名に。



## テレワーカーの来町状況

年度	利用企業数 (延べ)	利用者数 (延べ)	備考
平成27年度	8社	15名	登録ふるさとテレワーク専任
平成28年度	47社	103名	モニターツアー実施
平成29年度	50社	107名	モニターツアー、テレワーク合宿実施
平成30年度	54社	141名	モニターツアー、テレワーク合宿実施
令和元年度	67社	165名	テレワーク合宿実施

・平成27年度以降のテレワーカーの来町数は、約200社、500名となり、年々増加傾向。



北海道斜里町

## ～町内のテレワーク推進体制について～

### 知床スロウワークスとは……

- 【設立経過】
- ・H27年度の総務省の委託事業である「ふるさとテレワーク推進事業」において、地元の受け入れ団体として急遽設立された任意団体。
  - ・R1年度7月に、「一般社団法人知床スロウワークス」として法人化。

- 【構成メンバー】
- 町内飲食宿泊業経営者、団体職員OB、町内不動産業者、農業者、漁業者、その他、町内各種事業者で構成される。(役員約10名)

- 【団体の特徴】
- 主要なメンバーは、以前から移住・定住施策に携わっており、町外からの来訪者に対する受け入れやおもてなしの経験が豊富であり、ノウハウも蓄積されている。



# 【事例】富良野市 「令和2年度に富良野モデルを検討・提言」

令和2年、「富良野市ワーケーション受入研究会」を設立し、「ワーケーション受入検討実証事業」を実施。ソーシャルディスタンスを徹底して保つ企画により、5社8名のモニターの受け入れた。また、研究会での先進地視察と、ワークショップを複数回開催。地域企業・住民を巻き込んだ形で、来年度以降の事業方針を提言予定。

<p><b>滞在</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>羽田-旭川空港までの航空券を事業で負担させていただきます(企業の社員の方のみ)</li> <li>富良野の豊富な宿泊施設(感染対策実施)から、お選びいただけます。ワーク日程の宿泊費用を事業で負担させていただきます</li> <li>少なくとも、富良野にて3泊4日または4泊5日滞在いただけます</li> </ul>	<p><b>ワーケーション</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>富良野の豊富な自然の中、自由に観光・体験いただけます</li> <li>ワーケーション中、ご希望があれば、富良野観光のご案内も可能です(リモートサポートも可)</li> </ul>	<p><b>ワーク</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>滞在所でのワークだけでなく、日中は、民間のコワーキングスペース、他の宿泊施設等をご利用いただけます(費用は事業で負担)</li> <li>地域の資源・施設等を視察いただけます(滞在中2-3か所)</li> <li>地域住民と意見交換会にご参加いただけます(2時間程度)</li> </ul>
---	---	--

## ワーケーションイメージ



## ワークイメージ



## 滞在イメージ



## 旅程モデル案

- 移動・休暇**
- 富良野IN
  - 1日目(月)
  - ワーク
  - 2日目(火)
  - ワーク
  - 視察
  - 3日目(水)
  - ワーク
  - 4日目(木)
  - 有給休暇
  - 5日目(金)
  - ワーク
  - 意見交換会
  - 移動・休暇
  - 富良野OUT

感染対策を徹底してお迎えします

旭川空港

ご希望があれば、富良野から旭川空港への送迎いたします

富良野市を拠点に自由に休暇をお楽しみください

ご提供ポイントに応じて、宿泊先をカスタマイズいただけます

ドミトリーから貸別荘まで

ご用意するワークスペースの中から、お仕事場所をお選びいただけます

富良野市の資源(施設・産業など)を視察いただけます  
※滞在中2,3か所

地域のワーケーション検討会のメンバーとの情報交換に参加いただけます  
※滞在中1回2時間程度

今回は、ソーシャルディスタンスを保つワーケーション体験ですが、アフターコロナに再訪いただけることを楽しみにしています!

## 「富良野市ワーケーション受入研究会」の設立



## ワークショップでの検討シート



## ～ 今後の予定 ～

ワーケーション受入等に向けた提言書の提出

令和3年度～ 第6次富良野市総合計画・総合戦略 スタート

↓

令和3年度以降の事業予算・施策に反映

地域は、企業や個人の目的や課題を理解した上で、自地域が持つ強みを最大限に生かすことが重要。また、その先のゴール(移住等)を見据え、持続可能な施策とする必要がある。

施設内ワークスペース  
コワーキングスペース  
サテライトオフィス

ワーク  
スペース

滞在施設  
ホテル・旅館・別荘  
民泊・空き家  
移住お試し住宅

休暇要素  
観光(名所・歴史・ロケ地)  
自然(リフレッシュ・体験)  
趣味(釣り・サーフィン等)

地域

地域支援  
受け入れ支援  
滞在支援  
関係継続支援

福利厚生  
人材育成  
人材確保  
地域貢献

故郷へ戻る  
非日常  
旅行リピート  
出張先

ワーケーション  
施策

企業の目的

中間組織・人材

関係人口

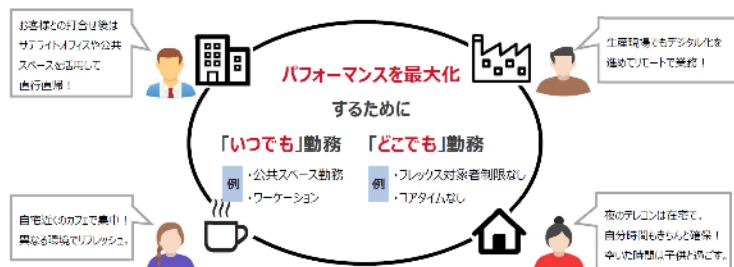
個人の目的

## 新しい働き方を私たち自身が実践する (2020年8月19日 ニューリリースより)



ニューノーマルへの対応として、在宅勤務などリモートワークを新しい働き方として標準化  
～社員一人ひとりの生産性、生活・健康の質の向上を図り、「はたらく」に「遊び」を実践～

全社一律ではなく、職種や仕事内容にあわせて柔軟に会社とリモートワークを組み合わせた最適な働き方を実践します。



## 制度変更概要



今後も新型コロナウイルス対応前の働き方に戻ることなく、仕事に合わせて働く場所を選択することで、さらに生産的な働き方に取り組み、ワークライフ・マネジメントの実現とはたらく遊びの向上を目指す。

### リモートワーク制度の改定

- ✓ 集中して業務できる場所であれば、どこでもリモートワークOK  
セキュリティに気を付けて、自ら働く場所を選ぶ！
- ✓ 対象者、利用日数についての制約を撤廃  
自律的に働ければ、誰でも、いつでも、リモートワーク可能！
- ✓ 月10日以上リモートワークする社員は、通勤手当の支給を停止  
出社時は交通費を実費精算する

## ワーケーション

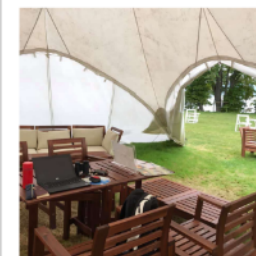


50

業務に集中できる環境であれば、  
旅行先や帰省先での一次的な業務を可能に。

自律的に時間や場所を選択できる柔軟な働き方を促進。

- ・ 長期休暇の取得促進
- ・ いつもと異なる環境で、新たな活力やアイデアを創出
- ・ 家族や友人と過ごす時間の確保
- ・ 地域の活性化や地方創生への貢献
- ・ 新たなワークスタイルを創出



### ～社員の声～

2週間ほど北海道でワーケーションをやってきました！  
仕事を中抜けして、牧草地帯をツーリングやカヌーをしたり。  
地元ボランティアに参加したり、漁師さんの昆布干しを手伝ったり。  
とっても充実していました♪



## 北海道 知床 斜里町への取り組み事例



### 地方創生テレワークの 新規ビジネスアイデア協創



### 地域活性化型テレワークの 実体験



### 企業間シェアードオフィス PoC企画協議 in 青空会議室



### 地域貢献活動

小学生を対象にプログラミング教室



### 地域の方々との対話



© Hitachi, Ltd. 2019. All rights reserved.

## 2020年、テレワーク(リモートワーク)前提の働き方に！

コロナ禍への対応だけでなく、「さくらインターネットの働き方」として、どこでも働ける環境づくりを推進中

### 制度・施策



### 実践事例

#### さぶりこ どこでもワーキング

自宅、カフェ、コワーキングスペースなど、幅広いところで勤務できるリモートワーク制度。利用回数の制限もありません。

「クロスターン」で、社員が、東京から石狩・福岡・熊本等に移住

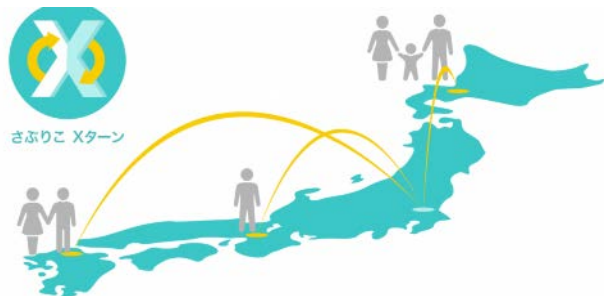
ワーケーション(休暇型)を実施する社員が増加

#### さぶりこ クロスターン

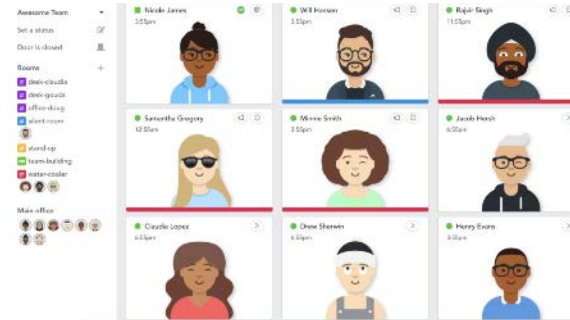
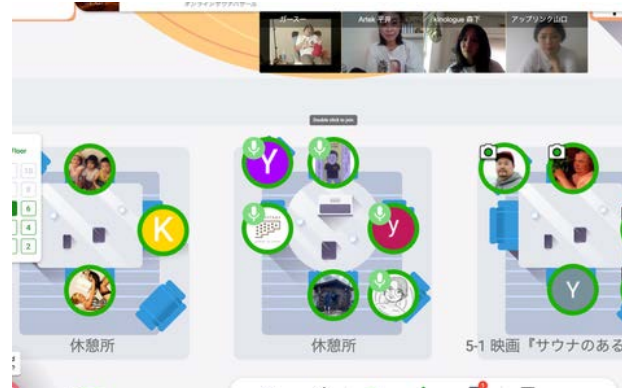
東京から他拠点への自由な転勤を認め、転勤費用の補助として最大130万円の一時金を支給。既存社員に加え、入社時も利用可能。  
(※)期間限定の施策のため現在は終了

ウィークリーマンションを利用して地方を転々としている社員も存在

社長自らが、沖縄・那覇に滞在してテレワーク中心



# 【参考】コロナ後、仮想オフィスが数多く登場



## World Wide Technology inc

- 1990年設立、年間売上1兆円以上
- テクノロジー&サプライチェーンサービス・プロバイダー
- 従業員数:5000人以上、世界20箇所以上に配置されたチーム

The screenshot shows the World Wide Technology website. The main heading is "Delivering Digital Outcomes & Modernizing IT Infrastructure". Below this, there are three columns: "Digital Strategy", "Customer Experience", and "Patient Experience". Under "Digital Strategy", there are items: Multicloud Architecture, Digital Workspace, Automation & Orchestration, Data Analytics & AI, and Application Development. Under "Customer Experience", there are items: Remote Working, Security Transformation, Data Center, Networking, and Carrier Networking. On the right, there is a graphic for "ATC INNOVATION ECOSYSTEM" with the text "POWERED BY WWT's R&D" and a list of items: Labs, Proofs of Concept, Experts, Testing, Partners, and ATC Insights.

- オフィスがあるロケーション以外での採用
- 業務の効率化
- 出張コストの削減
- 自然なコミュニケーション

# 【参考】「人」を活かすロボットによる、地域とのつながり

アバターロボット“newme(ニューミー)”



大分市府内5番街商店街



香川県新屋島水族館



石川県加賀市立錦城小学校